受　験　番　号							
M							

令和９年度
広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験
【博士課程前期】（９月入試）

専　門　科　目

教育科学専攻　教授学習科学プログラム
学習支援科学コース　特別支援教育学分野

令和８年９月９日

自　９時００分
至１２時００分

受験上の注意事項
１．すべてのページに受験番号を記入してください。
２．配付した問題用紙は持ち帰ってはいけません。
３．配付した問題用紙は，表紙を含めて９ページです。
４．分野共通問題（１），（２），（３）（２～４ページ）は必ず解答してください。
５．分野選択問題 問１～問５（５～９ページ）は，問題の指示に従って解答してください。

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム コース・分野	教育科学専攻 教授学習科学プログラム 学習支援科学コース・特別支援教育学分野

受　験　番　号							
M							

分野共通問題

（１）　小学校の通常の学級において，障害のある子どもが障害のない子どもとともに学ぶインクルーシブな教育環境を構築するにあたり，「授業内」と「授業外」でどのような環境整備が必要であるかを説明せよ。その際，それぞれの環境整備を行うにあたり担任教師が留意すべき点について具体例を挙げながら述べよ。解答にあたって想定する障害のある子どもについて，障害種を視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・発達障害の中から１つ選択し，想定する学年（小学校１年生から６年生）とあわせて解答欄の冒頭に明記して説明すること。

＜解答欄＞

障害種（　　）
学年　（　　）

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム コース・分野	教育科学専攻 教授学習科学プログラム 学習支援科学コース・特別支援教育学分野

受験番号							
M							

分野共通問題

（２）　高等学校における通級による指導について，入学以前に通級による指導を受けた経験がない生徒が，初めて受けることになった場合，中学校までに通級による指導を受けた経験のある生徒と比べて，特にどのような点に留意しながら生徒の指導にあたる必要があるかを述べよ。解答にあたっては，あなた自身が通級による指導の担当者であると仮定し，「実態把握」「自立活動」「連携」の３つの用語を必ず使用し，使用箇所に下線を引いて示すこと。

＜解答欄＞

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム コース・分野	教育科学専攻 教授学習科学プログラム 学習支援科学コース・特別支援教育学分野

受験番号							
M							

分野共通問題

（３）　心理学者のヴィゴツキー（Vygotsky. L. S.）が提唱した「発達の最近接領域」は，障害の有無を問わず子どもの発達や学びを考える上で重要な理論である。「発達の最近接領域」の理論的概要について説明するとともに，特別支援学校に在籍する子どもを対象とした「発達の最近接領域」を踏まえた指導について具体例を挙げながら説明せよ。解答にあたって想定する障害のある子どもについて，障害種を視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱の中から１つ選択し，解答の冒頭に障害種を明記して説明すること。

＜解答欄＞

障害種（　　）

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム コース・分野	教育科学専攻 教授学習科学プログラム 学習支援科学コース・特別支援教育学分野

受験番号							
M							

分野選択問題

次の問１～問５の中から３問を選んで答えよ。選んだ問題文の末尾の（　）に○を必ず記入すること。

問１　視覚障害児を対象とした漢字の指導における留意事項について述べよ。その際，弱視児と盲児それぞれについて，指導の具体例を挙げながら説明すること。（　　）

＜解答欄＞

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム コース・分野	教育科学専攻 教授学習科学プログラム 学習支援科学コース・特別支援教育学分野

受　験　番　号							
M							

問２　　聴覚障害児の音韻意識の発達における特異性と，それが日本語の読み書きに及ぼす影響について具体的に説明せよ。（　　）

＜解答欄＞

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム コース・分野	教育科学専攻 教授学習科学プログラム 学習支援科学コース・特別支援教育学分野

受験番号								
M								

問３　　起立性調節障害について，具体的な症状の例，好発年齢，生活上の留意事項について説明せよ。その上で，通常の学級に在籍する起立性調節障害のある児童生徒への合理的配慮として想定される事項について述べよ。（　　）

＜解答欄＞

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム コース・分野	教育科学専攻 教授学習科学プログラム 学習支援科学コース・特別支援教育学分野

受　験　番　号							
M							

問４　　知的障害特別支援学級に在籍する児童生徒と自閉症情緒障害特別支援学級に在籍する児童生徒について，両者の「障害の状態や学習上又は生活上の困難さ」を比較しながら述べよ。あわせて，各学級に在籍する児童生徒を担任する場合，指導や支援において，それぞれどのような点に留意する必要があるかを具体的に説明せよ。（　　）

＜解答欄＞

令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験問題
【博士課程前期】（９月入試）

試験科目	専門科目
専攻 プログラム コース・分野	教育科学専攻 教授学習科学プログラム 学習支援科学コース・特別支援教育学分野

受　験　番　号								
M								

問５　視覚障害と聴覚障害を併せ有する「盲ろう」者のコミュニケーション方法を１つ挙げ，どのような実態（障害の状態とその状態になるまでの経緯）の盲ろう者がそのコミュニケーション方法を使うことが多いか，理由と根拠を示しながら説明せよ。（　　）

＜解答欄＞